

大学1年生	1年生	2年生	3年生	4年生
大学2年生	2年生	3年生	4年生	卒業後1年
大学3・4年生/社会人	1年目	2年目	3年目	4年目

2023年 7月 10月 2024年 1月 4月 2025年 1月 5月 7月 9月 2026年 1月 7月



柴田講師推奨受講プラン

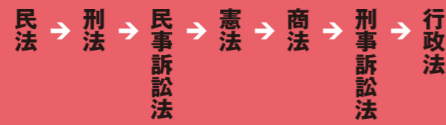
入門講座こそ合格のカギ! しっかり受けてください

全体を2周するからより知識が定着! 法学は、後に学ぶことを知らないと先に学ぶことが理解できません。そこで、講義内で全体を2回学べるようにしました。また、柴田クラス申込特典の「行政法入門講座」を受講し、「プレ予備試験」として行政書士試験を受験すること、柴田孝之は強くお勧めをしています。

IN put

生講義+Zoom+通信

入門講座
107回(321時間)



IN put

行政法入門講座
(15時間)

OUT put

論文基礎力養成答練
35回(27問)

入門段階から論文を書いていくことで、知識の確認+論文力を養成

柴田クラスのポイント

過去問・司法修習・実務から分かる!

◆ 合格に必要なかつ十分な知識をすべて講義 私は長年の受験指導歴と著作の経験があり、古くから過去問を熟知しております。さらに、訴訟代理人、弁護士、企業顧問の実務経験や司法修習生の研修担当の経験もあり、これらの実務経験を踏まえた実践的な講義を提供いたします。
膨大な法律知識から、合格に『必要かつ十分』な知識を確実に修得いただけるように、すべての法律を隙間なく講義いたします!

柴田クラスのポイント

行間を説明する講義

◆ 法学の授業は、結論と理由の間の論理が飛んでいるものが多く、これは予備校の講義ですら例外ではありません。これこそが講義が難解になる理由です。論理を飛ばさず、行間を余さず説明します。

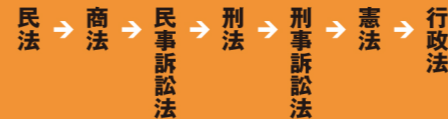
OUT put

全国短答ファイナル模試 2回

※本コースには、2024年5月下旬から実施される「全国短答ファイナル模試(全2回)」が付属しております。入門講座修了段階のタイミングで実力診断として受講いただけます。

IN put Zoom+通信

合格答案作成 講座
63回(189時間)



Input & Output 運動学習 論文

OUT put

通学or通信 **ハイレベル論文答練**
30回(60問) 本試験6回分の問題演習

IN put

通信

短答合格講座
42回(147時間)

Input & Output 運動学習 短答

OUT put

通信

ハイレベル短答答練
24回 本試験6回分の問題演習

IN put

通信

法律実務基礎講座 / 講義編
7回(21時間)

Input & Output 運動学習 論文

OUT put

通信

法律実務基礎講座 / 演習編
7回(21時間) ※過去問解説の他、民事、刑事各3問ずつ添削あります。

IN put

通信

選択科目総整理講座

※選択科目によって講義時間・回数が異なります。

OUT put

全国短答ファイナル模試 2回

予備試験 短答本試験

予備試験 論文本試験

予備試験 口述本試験

司法試験 本試験

予備試験合格者の司法試験合格率は高い!
予備試験合格者(29歳以下)の2022年司法試験合格率

98.65%

オリジナル講師レジュメ

極限まで贅肉をそぎ落として真のポイントのみを収録した『オリジナルレジュメ』。復習すべき点が明白です。



柴田クラスのポイント

公職の経験を交えた講義

◆ 公職の経験を通し、さらに講義テクニックがパワーアップいたしました。一般の住民にも分かりやすく端的に説明する経験が、講義を飛躍的に分かりやすくしています。また、行政法のほか、憲法統治機構、法人理論などのイメージがつかみにくい分野も実体験を元に端的に解説いたします。コンパクトな説明で学習がおもしろくなります。

柴田講師の講義の進め方

講義は、講師作成のオリジナルレジュメを用います。板書をする必要がなく、講義に集中し、その場で理解を深めてもらうためです。多様な言い換えと具体例、講師自身の実務体験を用いながら、講義では、「目に見えない法律上の概念が目に見えるようにする」説明を展開します。併せて、説明している知識が、なぜ出るのか、どういう形式で出題がされるかで解説し、合格に直結する知識を学んでいることを実感できる講義を実施します。

その項目における重要論点を簡潔に掲載。また、関連判例まで掲載されているなど情報が一元化されています。